

# キシミー川・エバークレイズ自然再生(米国)

米国フロリダ地域のエバークレイズではオキチョビー湖から 290 万エーカー(11,700km<sup>2</sup>)の範囲に水が流れて形成される(「草の川」と呼ばれる)湿地が存在していた。

しかし、農地開拓などや水害防止対策のために水質汚濁や乾燥化が進むキシミー川も 1947 年の水害を契機とした河川改修により蛇行が直線化され、その姿を大きく変えてしまうこととなった。現在エバークレイズでは総事業費約 78 億ドルという世界最大規模の湿地保全・復元プロジェクトが進行し、キシミー川では直線化した河道の再蛇行化による湿地復元の取り組みが行われている。

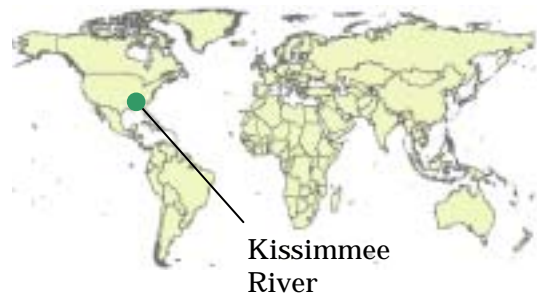
## ◆ 再生のポイント

- 水質浄化のための湿地の再生、農地からの栄養塩除去プロジェクト(ECP)
- 汽水地域への水供給の改善、包括的エバークレイズ復元プラン(CERP)
- キシミー川蛇行復元事業

## ◆ キシミー・エバークレイズ概要

中部及び南部フロリダ地方は、水の多い湿った土地であり、年間降水量は、1,346~1,524mmに達する。中部フロリダ地方に連なる湖から、水はキシミー川の谷を流れてオキチョビー湖に流入し、さらにオキチョビー湖から、エバークレイズの平坦な草原の上を 96.5km に達する広い“川”となって南に流れ、最後にフロリダ湾に入る。

キシミー・オキチョビー・エバークレイズ水系の流域は、およそ 16,187km<sup>2</sup> をカバーしていたが、都市の周辺及び農業地域の開発に伴う排水事業によって、この自然流域の面積はおよそ半分に減少した。



## ◆ 再生のために実施した事業

### 【水質浄化のための湿地の再生、農地からの栄養塩除去プロジェクト(ECP)】

このプロジェクトはエバークレイズ復元における第一段階であり、70 万エーカーの農業地帯から流下してくる汚濁した河川水をエバークレイズに直接流下しないように総計 4 万 2 千エーカーの敷地内で浄化するものである。浄化は過剰栄養分、特にリンに対し植生によるバイオロジカルな削減を実施している。

### 【汽水地域への水供給の改善、包括的エバークレイズ復元プラン(CERP)】

複数の表流水の貯水池、水保存地域、オキチョビー湖のエコロジカルな資源としての管理、河口など汽水地域への水供給の改善、地下に作る貯水設備、水質浄化用のウエットランド(湿地)、エバークレイズへの水配分の改善、シートフロー(薄い層状の流れ)における障害物の撤去、既存の採石場跡地の貯水場としての利用、下水など排水の再利用、テスト・プロジェクト、水利用の節約などが実施されている。

### 【キシミー川蛇行復元事業】

92 年の水質改善法により連続した 35km の直線部を復元する復元事業が本格化した。事業は工兵隊、州政府、南フロリダ水管理公社の共同事業として行われており、第一段階として 1999 年 3 月から 2000 年 3 月に直線 12km 分の再蛇行化と 2 つの堰の撤去が行われた。復元はハビタット、植生、食物連鎖、魚類及び野生生物の 4 点に対して行っており、復元範囲は現実のできる範囲で決めており、人口の密集地をはずして、牧草地対象として用地買収を行っている。

出典：財団法人リバーフロント整備センターHP (<http://www.rfc.or.jp/kawa/furusato/moi.html>)

「アメリカ東海岸河川・生態系保全に関する調査団 調査報告書」

財団法人リバーフロント整備センター／財団法人日本生態系協会

「アメリカ合衆国集水域を単位とした河川環境保全施策調査団 調査報告書」

財団法人リバーフロント整備センター／財団法人日本生態系協会